



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年1月31日

上場会社名 三井製糖株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 雅明 (TEL) 03 (3663) 3111  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 津田 琢哉 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	61,979	3.4	5,921	5.9	6,385	5.6	3,814	1.7
22年3月期第3四半期	59,916	0.0	5,590	△5.5	6,045	△0.9	3,749	2.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	28	39	—	—
22年3月期第3四半期	27	40	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第3四半期	70,689		51,912		72.3	380	18	
22年3月期	69,594		49,606		70.1	363	34	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 51,075百万円 22年3月期 48,818百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—		3	00	—		7	00
23年3月期	—		3	00	—			
23年3月期(予想)							4	00
							7	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	78,400	△0.2	6,000	△1.9	6,400	△6.7	3,880	△7.5	28	88

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 — 社（社名 — ） 、除外 — 社（社名 — ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	141,667,400株	22年3月期	141,667,400株
23年3月期3Q	7,320,018株	22年3月期	7,305,722株
23年3月期3Q	134,354,683株	22年3月期3Q	136,833,659株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を始めとした新興国への輸出の増加や政府の経済対策の効果等により緩やかな回復基調が見られましたが、依然として厳しい雇用環境から個人消費も伸び悩み、円高・株安傾向やデフレ経済の進行など先行き不透明感から景気の足踏み状態が続いております。

このような状況の中、当社グループでは2年間の中期経営計画の実現に向け、コスト・品質改善、基幹システムの構築、海外展開の模索等の施策に注力しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は下記の通りであります。

売上高	61,979百万円 (前年同期比3.4%増)
営業利益	5,921百万円 (前年同期比5.9%増)
経常利益	6,385百万円 (前年同期比5.6%増)
四半期純利益	3,814百万円 (前年同期比1.7%増)

## (砂糖事業)

砂糖事業におきましては、海外粗糖相場は前期の急落を受け期初は軟調な展開が続いていたものの、6月に入るとブラジルの出荷遅延問題などから底打ちとなり、現物プレミアムの高止まりと相俟って値を回復し、その後もロシアの早魃、豪州での降雨による減産見通しなどを受けて高騰し、30年ぶりの高値を示現し高水準で推移いたしました。このような荒い相場動向の中、当社としては慎重な原料調達や海外相場を適時反映した価格での販売に注力しました。

販売量としては、前期末に発生した値上げ前の駆け込み需要の反動などもあり前年同期を下回りましたが、売上高としては国内販売価格水準の上昇を背景に前年同期を上回る結果となりました。

また、スプーンブランドのマーケット訴求と低迷する砂糖需要を喚起することを目的にしたプロモーション活動については、著名な料理研究家を起用した全国的なイベント活動を展開し、WEB・新聞・雑誌などによる広告宣伝活動を実施いたしました。

生産面では原油相場が底堅く推移する中、省エネルギー活動、安定供給の確保、品質対策の強化に継続して取り組みました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は55,239百万円、営業利益は4,931百万円となりました。

## 期中の砂糖市況

国内市中相場 (日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり)

始値182~183円 安値176~177円 高値189~190円 終値189~190円

海外粗糖相場 (ニューヨーク砂糖現物、1ポンド当たり)

始値19.97セント 安値18.07セント 高値39.65セント 終値36.15セント

## (食品素材事業)

食品素材事業におきましては、「パラチノース」の大手醗酵乳メーカー向け販売が堅調に推移し、また連結子会社の食品向け色素、保存料が好調に推移するなど、総じて収益は改善されました。

以上の結果、食品素材事業の売上高は5,644百万円、営業利益は363百万円となりました。

## (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃料相場の低迷等、厳しい環境となる中、引き続き社有不動産の効率的活用に努めました。

以上の結果、不動産事業の売上高は1,095百万円、営業利益は626百万円となりました。

営業外損益においては、海外粗糖相場の高騰が国内甜菜糖会社及びタイ国関係会社の業績に寄与し、また国内糖化製品会社の増益等もあり前年同期並に持分法による投資利益を計上したことなどから、経常利益は6,385百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## [連結財政状態の変動状況]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比1,095百万円増加し70,689百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

## ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比873百万円増加し21,281百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加1,595百万円、受取手形及び売掛金の増加1,017百万円があった一方で、原材料及び貯蔵品の減少1,462百万円、未収入金の減少301百万円等があったことによるものであります。

## ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比222百万円増加し49,408百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による増加があった一方で、減価償却による減少等があったことによるものであります。

## ③負債

負債は、前連結会計年度末比1,209百万円減少し18,777百万円となりました。これは主として、借入金の増加740百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少378百万円、未払費用の減少575百万円、未払金の減少482百万円、未払法人税等の減少167百万円等があったことによるものであります。

## ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比2,305百万円増加し51,912百万円となりました。これは主として、四半期純利益3,814百万円、剰余金の配当1,345百万円、その他有価証券評価差額金の減少60百万円等によるものであります。なお、自己資本比率は72.3%と2.1ポイント改善しております。

## 〔連結キャッシュ・フローの状況〕

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は4,967百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,595百万円の増加となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は4,595百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益6,316百万円、減価償却費1,643百万円及びたな卸資産の減少額1,260百万円等により資金が増加した一方で、売上債権の増加額1,017百万円、未払費用の減少額576百万円、仕入債務の減少額384百万円及び法人税等の支払額2,374百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は2,383百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出2,389百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は615百万円となりました。これは主として、借入金の増加740百万円があった一方で、配当金の支払額1,342百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表のとおりとし変更はございません。なお、高水準かつ動きの激しい状況にある海外粗糖相場はコスト圧迫要因となっており、今後の情報収集、分析により見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. その他の情報

## (1) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ0百万円、税金等調整前四半期純利益は34百万円減少しております。

## ②「持分法に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,976	3,380
受取手形及び売掛金	5,550	4,532
商品及び製品	3,507	3,518
仕掛品	1,490	1,278
原材料及び貯蔵品	5,163	6,626
繰延税金資産	328	503
その他	275	579
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	21,281	20,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,869	23,879
減価償却累計額	△15,978	△15,700
建物及び構築物(純額)	7,891	8,179
機械装置及び運搬具	39,144	38,903
減価償却累計額	△32,011	△31,142
機械装置及び運搬具(純額)	7,133	7,760
工具、器具及び備品	1,609	1,576
減価償却累計額	△1,336	△1,340
工具、器具及び備品(純額)	272	236
土地	19,727	19,727
リース資産	44	44
減価償却累計額	△13	△7
リース資産(純額)	30	36
建設仮勘定	1,164	44
有形固定資産合計	36,219	35,984
無形固定資産		
無形固定資産合計	54	60
投資その他の資産		
投資有価証券	12,149	12,030
長期貸付金	53	59
繰延税金資産	120	118
その他	830	952
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	13,134	13,141
固定資産合計	49,408	49,186
資産合計	70,689	69,594

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,391	6,770
1年内返済予定の長期借入金	1,392	941
リース債務	8	8
未払費用	1,878	2,453
未払法人税等	986	1,153
未払消費税等	232	372
役員賞与引当金	50	67
その他	959	1,332
流動負債合計	11,899	13,099
固定負債		
長期借入金	1,373	1,084
リース債務	23	29
繰延税金負債	1,174	1,149
退職給付引当金	1,902	2,138
資産除去債務	55	—
長期預り保証金	1,048	1,149
その他	1,299	1,335
固定負債合計	6,877	6,887
負債合計	18,777	19,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,254
利益剰余金	45,861	43,580
自己株式	△2,565	△2,561
株主資本合計	51,632	49,356
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	188	249
繰延ヘッジ損益	3	△3
為替換算調整勘定	△748	△783
評価・換算差額等合計	△556	△537
少数株主持分	836	788
純資産合計	51,912	49,606
負債純資産合計	70,689	69,594

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	59,916	61,979
売上原価	46,355	48,025
売上総利益	13,561	13,954
販売費及び一般管理費		
配送費	1,938	1,837
役員賞与引当金繰入額	49	49
退職給付引当金繰入額	126	111
その他	5,856	6,034
販売費及び一般管理費合計	7,971	8,033
営業利益	5,590	5,921
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	49	55
持分法による投資利益	483	464
雑収入	119	111
営業外収益合計	656	633
営業外費用		
支払利息	38	21
固定資産除却損	66	37
設備撤去費	—	34
雑損失	97	75
営業外費用合計	202	169
経常利益	6,045	6,385
特別利益		
投資有価証券売却益	44	—
合理化対策事業助成金収入	—	44
特別利益合計	44	44
特別損失		
固定資産圧縮損	—	44
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	33
減損損失	9	—
投資有価証券評価損	—	35
特別損失合計	9	113
税金等調整前四半期純利益	6,080	6,316
法人税、住民税及び事業税	2,024	2,216
法人税等調整額	261	234
法人税等合計	2,286	2,450
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,865
少数株主利益	45	50
四半期純利益	3,749	3,814



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,080	6,316
減価償却費	1,642	1,643
固定資産処分損益 (△は益)	△0	0
減損損失	9	—
持分法による投資損益 (△は益)	△483	△464
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△181	△235
受取利息及び受取配当金	△54	△57
支払利息	38	21
合理化対策事業助成金収入	—	△44
固定資産圧縮損	—	44
売上債権の増減額 (△は増加)	△835	△1,017
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△592	1,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,826	△384
未払消費税等の増減額 (△は減少)	309	△139
その他	△622	△52
小計	8,137	6,888
利息及び配当金の受取額	54	57
利息の支払額	△35	△20
合理化対策事業助成金受取額	—	44
法人税等の支払額	△2,425	△2,374
法人税等の還付額	6	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,737	4,595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,364	△2,389
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△20	△21
投資有価証券の売却による収入	220	39
その他	29	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,133	△2,383
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,770	1,670
短期借入金の返済による支出	△4,570	△1,670
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	—	500
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△500
長期借入れによる収入	—	1,500
長期借入金の返済による支出	△927	△759
自己株式の取得による支出	△349	△4
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△959	△1,342
少数株主への配当金の支払額	△1	△2
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,044	△615
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	558	1,595
現金及び現金同等物の期首残高	3,127	3,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,685	4,967

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報] 前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	53,843	4,944	1,129	—	59,916	—	59,916
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	26	0	57	—	83	△83	—
計	53,869	4,944	1,186	—	60,000	△83	59,916
営業利益	6,112	269	700	—	7,082	△1,491	5,590

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は製品系列によって行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品及び商品等

事業区分	主要製品及び商品等
砂糖事業	精製糖、液糖、砂糖二次製品
食品素材事業	機能性甘味料(「パラチノース」「パラチニット」)、さとうきび抽出物、食品保存料、食品香料、食品用天然色素、寒天、カラギーナン
不動産事業	土地、店舗、倉庫、オフィスの賃貸業、倉庫業
その他事業	医薬品

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないので該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の海外売上高が連結売上高の10%未満であるため記載を省略しております。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び連結子会社は、砂糖及び食品素材の製造、販売と不動産の賃貸等を行っており、これらの製品またはサービス系列を基礎として組織を構成しております。

従って当社は、「砂糖事業」、「食品素材事業」、「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「砂糖事業」は、原料糖、精製糖並びに砂糖関連商品を製造、販売しております。「食品素材事業」は天然由来の甘味料・色素・香味料・さとうきび抽出物・寒天等を製造、販売しております。「不動産事業」は主に土地、店舗、オフィスの賃貸等を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	食品素材 事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,239	5,644	1,095	61,979	—	61,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	0	54	83	△83	—
計	55,268	5,644	1,149	62,062	△83	61,979
セグメント利益	4,931	363	626	5,921	—	5,921

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## （追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。